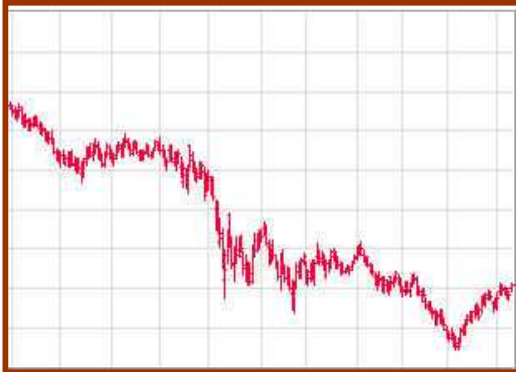


不況時でも安全を忘れるべからず!

2009年6月



大部分の国で経済が厳しい状態にある。売上も利益も低下し、多くの企業が損をしている。プラントの稼働率は低く、停止しているものもある。利益低下にともない、スタッフ削減を含む運転コスト低減への圧力が增大している。更に頻繁なシャットダウンとスタートアップ、あるいは低稼働率運転は安全運転に悪影響を与え、運転関係者にストレスを与えるであろう。作業員へのストレスが増すと、細かなことへの注意が散漫になり、ミスを引き起こす。この様なプレッシャーに拘わらず、管理者と作業員の双方は共に、安全運転とプロセス安全に集中しなければならない。訓練と予防保全は、両方とも安全と長期にわたる経済的成功に絶対に必要なものであり、妥協するものではないことを確認すること。スタッフ削減の決定は、設備の変更管理手順を用いて熟慮する必要があり、スタッフ削減で安全上不可欠な活動は損なわれないということを確認すべきである。

景気下降場面でも必要なプロセス安全対策費用は維持されなければならない... 企業は、決定がプラント従業員・請負業者・地域住民の安全が確実に守られるよう熟考すべきである。長い目で見れば、安全投資を維持する企業が、未来に向けた恩恵を蒙るのである。-- John Bresland, Chairman, United States Chemical Safety and Hazard Investigation Board

あなたにできること?

- 厳しい経済環境下でも安全の価値と基準に継続して力点を置くこと。我々はどのような環境にあってもプロセス安全に焦点を当てていかなければならない。
- どういう活動が自分の施設の中で安全上不可欠かということを理解し、これらの活動が経済的圧力によって損なわれるものではないということを確認すること。
- 需要後退期中に、保全・改造・改善に関して重要な安全策を実施する時期を提案すること。景気後退期はこれらの活動を実行する良い機会となるはずである。とにかく、市場の需要が少なく、プラントを停止または低稼働率で運転することができるからである。
- もし、コスト削減措置で悪影響を受けている安全上重要な装置や活動に気づいたならば、管理者がその問題に気づいているかどうかを確認すること。安全に対する潜在的な影響を十分理解することなしに、コストのみを考えて決定された可能性がある。
- スタッフ配置の変更・低稼働率運転・運転計画変更・その他のコスト削減のためのプラント改造についての変更を含め、全ての変更による影響を十分に理解するために、変更管理レビューを行うこと。

短期間の経済的痛みが長期的な安全上の損害を引き起こさないようにすること

AICHE © 2009. 不許複製。非営利的な教育目的のための複製は奨励する。ただし、再販目的のための複製は、CCPS以外のいかなる者に対しても禁止する。コンタクト先: ccps_beacon@aiche.org or 646-495-1371